

ごあいさつ



平素より、呉信用金庫“くれしん”に対し、格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第93期（平成29年度）の業務の状況を取りまとめましたので、ご高覧いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度を振り返りますと、国内経済は公共投資や海外景気の持ち直しによる外需を下支えとして、大手や一部企業では収益環境が堅調に推移いたしました。また、個人も労働市場の人手不足感や企業業績向上の影響もあり所得環境が改善され、個人も実感は乏しいものの、総じて緩やかな回復基調が続いた年でした。

呉市を中心とした当地域においては、製造業や運輸業等を中心とした旺盛な設備投資意欲を背景に、工業団地の分譲が好調であったことに加え、呉管内の公共工事高は前期比15%以上増加するなど、一部業種では受注環境が好調に推移いたしました。反面、原材料の高止まりや人手不足等が、企業収益を圧迫し、回復基調を実感できない企業も散見され、個人消費の伸び悩みと合わせ、地域における課題解決は、未だ「道半ば」という状況です。

こうした中、中期経営計画“CHALLENGE & SPEED”の最終年度にあたる平成29年度は「①お客さまとの『対話』を深め、きめ細かいサービスによる営業活動の展開」、「②地域経済活性化のため、『顧客価値創造への貢献』へ注力した営業活動の展開」、「③預貸金などバランスシートの構成の見直し等を通じた、収益構造の転換」を活動テーマに取り組んでまいりました。

法人・個人事業者のお客さまには、外部機関との連携による創業・起業の支援や、「くれしん地域企業応援ガイドブック2017」の発刊などビジネスマッチングへの支援を強化し、課題解決型の提案活動を進めてまいりました。また、経営改善が必要なお客さまには、外部専門機関等も活用して事業再生支援に取り組んでまいりました。

個人のお客さまには、営業地区内の事業所と職域サポート契約を締結して職域においても商品・サービスの拡充に取り組むとともに、住宅ローンセンターを3拠点体制として営業活動を強化したほか、インターネット支店の開設など、利便性の向上、新たなチャネルの構築に努めてまいりました。

このほか、地域行事への積極的な参加や、小学校での「くれしんキッズセミナー」の開催、一般財団法人くれしん芸術文化財団を通じた地域の文化・芸術活動への支援、各種スポーツ大会の主催・サポートを通じて地域との絆を深めるなど、幅広い社会貢献活動にも取り組んでまいりました。

その結果、平成29年度の業績は、貸出金残高が5期連続で増加し3,993億円、預金積金残高が7,046億円となり、当期純利益を19億円計上することができました。

これからも「お客さまや地域とのリレーション」を大切に、地域社会の発展・繁栄に貢献できるよう役職員一丸となって取り組んでまいりますので、末永く変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 7 月

理事長

槇岡敬人